

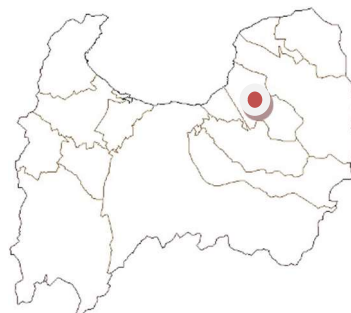
魚津の水循環事業



地下水かん養事業

片貝川流域は、源流から海までの水循環が1つのまちで完結し、その循環を一目で見渡すことができる世界でも稀な地域。

魚津市内の飲用水及び産業用水は100%地下水で年間約2千万トンがまかなわれているが、冬期の降雪時には一時的に地下水位の低下が見られるため、市では「魚津の水循環事業」の取組の1つとして地下水かん養事業を実施している。



富山県魚津市



地下水かん養
休耕田を利用

〔地下水のかん養〕

魚津市は、魚津・滑川地域地下水利用対策協議会の協力や支援を得て、休耕田に湛水し、地下水のかん養機能を維持している。

〔体験学習と教育〕

市では、「魚津の水循環」を広く知ってもらうため、調査データを利用した広報活動や情報発信を行い、環境保全に知識と深い理解を有する市民を養成する「水の学び舎ツアー」等様々な活動を実施している。

〔地域社会の振興〕

片貝川扇状地の地下水を原料とした「魚津のうまい水」を市役所で販売。売上金の一部は環境保全活動に活用されている。

魚津の水循環



水の学び舎ツアー



「魚津のうまい水」